

校長だより

福津市立福間東中学校
校長 猪股 清貴
平成 28 年 7 月 7 日 No20

暑さに負けず頑張っています



左の写真は2年生の英語の授業の一場面です。隣同士ペアになって電話のスキットを読み合っています。黒板の前では妹尾先生も一緒にスキットに参加しています。最初は2分で3回だった目標ですが、だんだんハードルが高くなり1回25秒の目標を目指して取り組んでいます。どのペアも真剣そのものです。語尾を上げるのか、下げるのかこれも正確さが求められます。声を張り上げるのではなく、相手に聞こえる適度な大ききで会話ができています。また、男女関係なく隣の人と頭を

突き合わせて取り組む姿に感心しました。今日の授業の「めあて」は「Will you や Shall we を使って電話で友達を誘ったり、待ち合わせの約束をする会話ができること」です。さて、どれだけの方が電話で友達と約束できたでしょうか。

同じ日、3年生の教室では漢和辞典を手に熟語の読みを整理している姿がありました。これはあくまでも私の考えですが・・・日本人が文字を持たなかった大昔のことだと思ってください。福津の



海岸で遊んでいた子どもたちが、船から降りてきた男たちに話しかけられています。でも、男たちの話す言葉は自分たちが使っている言葉と違い、何を言っているのか全く意味が分かりません。子どもたちが不思議そうな顔していると、男たちはそこにあった木切れで砂浜に「山」という記号を書き許斐山を指しながら「サン、サン」と叫んでいます。そこで、子どもたちははっと気が付きました。「もしかしたら、この『山』という記号は自分たちが『やま』と呼んでいるものを指す記号ではな

いだろうか。」こうして、昔の人たちは漢字を獲得してきたのではないのでしょうか。だから、漢字には中国語の音を示す「音読み」と日本語の意味を示す「訓読み」があると考えると、分かりやすいかもしれませんね。この後3年生は熟字訓の読みにチャレンジしていました。

猛暑の中どの教室も授業中の姿勢は先生も生徒も真剣そのものです。



